

私たちのくらしと温室効果ガス

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山 2023.8.5
第2回 話題（1）

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山での 「脱炭素ライフスタイル」

第1回

気候変動の実際
国際社会が目指す「1.5℃」
脱炭素社会とは

第2回・「チャレンジ」・第3回前半

私たちの暮らしと脱炭素
「1.5℃」の暮らしとは
生活者ができることできないこと



第3回後半・第4回・第5回

逗子・葉山の脱炭素社会
将来の脱炭素社会を目指し
市民・行政・企業が取り組むこと

カーボンフットプリント

カーボンフットプリント



カーボン・フットプリント

購入する製品やサービスの製造・流通・廃棄等、サプライチェーンにおける間接排出を含めたライフサイクルにおける温室効果ガス排出

例：オレンジジュース1缶



合計
123g



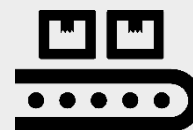
捨てる・リサイクルする
12.1g



家で冷蔵する
18.5g



製品を運ぶ
43.1g



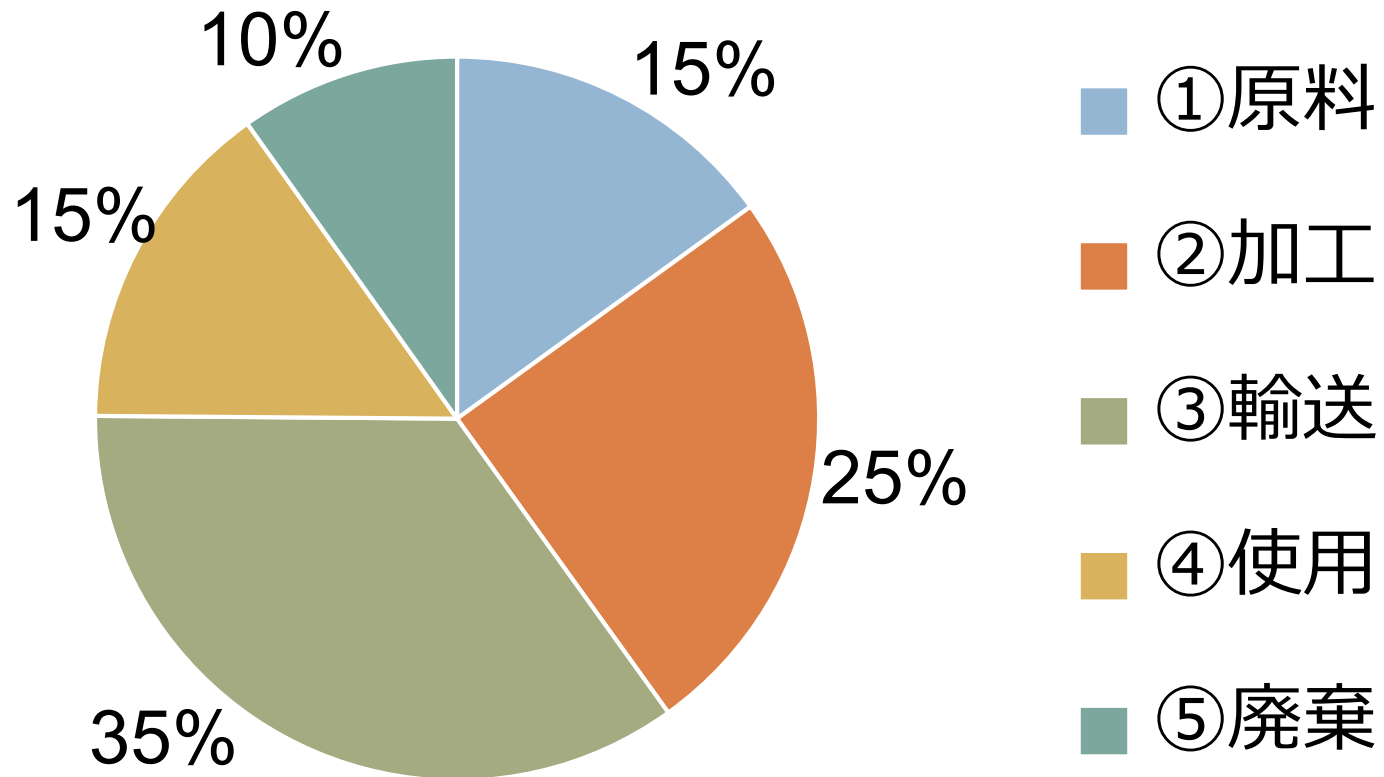
製品を作る
30.8g



原材料を調達する
30.8g

身近な製品のカーボンフットプリント

缶入りオレンジジュース (参考：1本あたり123g)



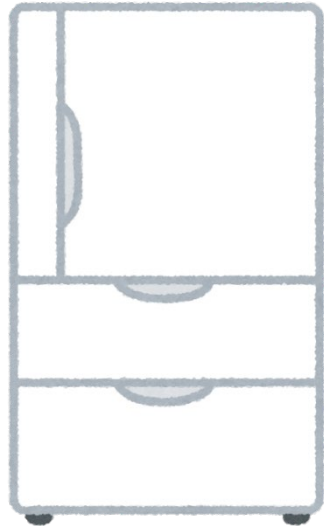
出典：経済産業省「カーボンフットプリントガイドブック2009-2011」

身近な製品のカーボンフットプリント

1

冷蔵庫

カーボンフットプリント
(12年間使用の場合)
3,000kg

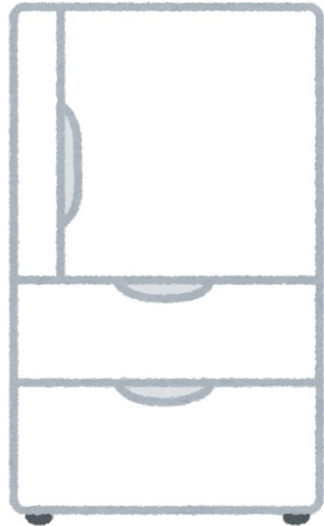


原料	鉄、アルミ、プラスチック、ガスなど
加工	日本、中国、タイ、ベトナムなどで組み立て
輸送	海外からは船で、国内は鉄道やトラックではこぶ
使用	一日中電源をつけている
廃棄	回収、リサイクル工場で解体、使える素材は再利用

身近な製品のカーボンフットプリント

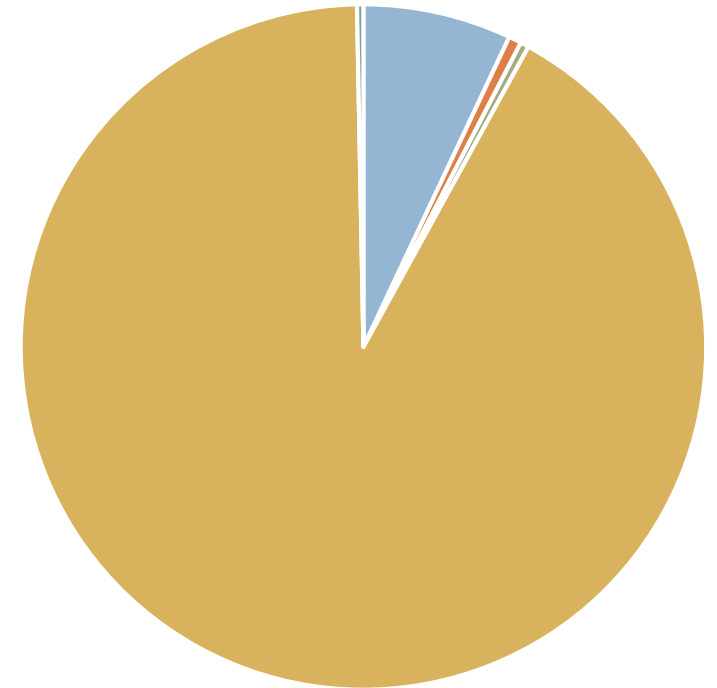
1

冷蔵庫



原料	鉄、アルミ、プラスチック、ガスなど
加工	日本、中国、タイ、ベトナムなどで組み立て
輸送	海外からは船で、国内は鉄道やトラックではこぶ
使用	一日中電源をつけている
廃棄	回収、リサイクル工場で解体、使える素材は再利用

カーボンフットプリント
(12年間使用の場合)
3,000kg



■ 原料 ■ 加工 ■ 輸送 ■ 使用 ■ 廃棄

身近な製品のカーボンフットプリント

2

スマートフォン

カーボンフットプリント
(2年間使用の場合)
29kg



原料	プラスチック、ガラス、鉄、銅、シリコンなど
加工	中国、インド、ベトナムなどで組み立て
輸送	海外からは船か飛行機で、国内はトラックではこぶ
使用	一日中電源をつけていることが多い
廃棄	回収、リサイクル工場で解体、使える素材は再利用

身近な製品のカーボンフットプリント

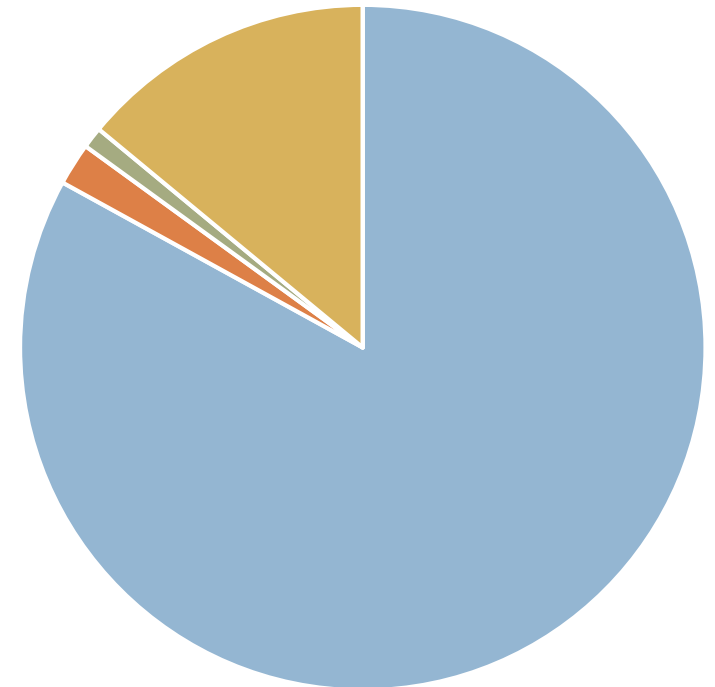
2

スマートフォン



原料	プラスチック、ガラス、鉄、銅、シリコンなど
加工	中国、インド、ベトナムなどで組み立て
輸送	海外からは船か飛行機で、国内はトラックではこぶ
使用	一日中電源をつけていることが多い
廃棄	回収、リサイクル工場解体、使える素材は再利用

カーボンフットプリント
(2年間使用の場合)
29kg



■ 原料 ■ 加工 ■ 輸送 ■ 使用 ■ 廃棄

身近な製品のカーボンフットプリント

3

トレーニングウェア（上）

カーボンフットプリント
（100回洗濯するまで）
12.6kg



原料	ポリエステル（石油加工品）
加工	ベトナム、カンボジア、バングラデシュなどで縫製
輸送	海外からは船で、国内はトラックではこぶ
使用	洗濯機で洗う。アイロンはかけない
廃棄	回収、リサイクル

身近な製品のカーボンフットプリント

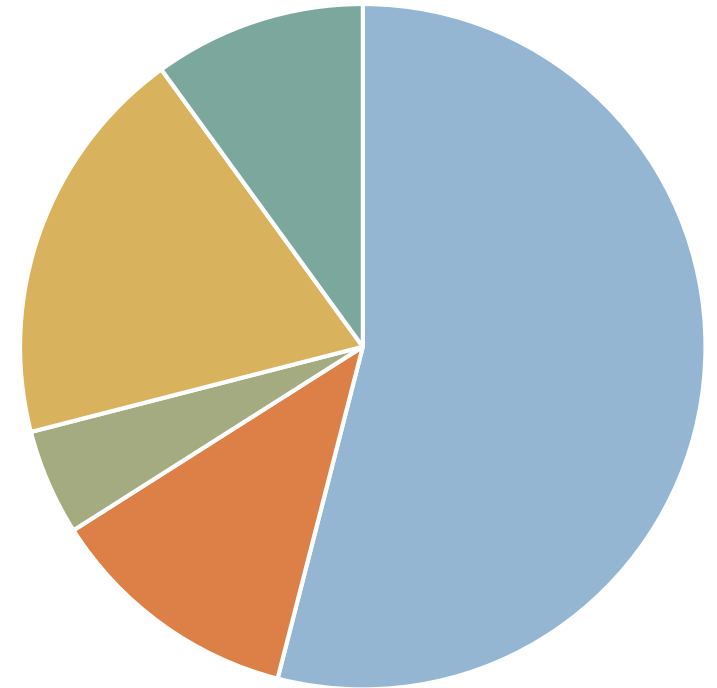
3

トレーニングウェア（上）



原料	ポリエステル（石油加工品）
加工	ベトナム、カンボジア、バングラデシュなどで縫製
輸送	海外からは船で、国内はトラックではこぶ
使用	洗濯機で洗う。アイロンはかけない
廃棄	回収、リサイクル

カーボンフットプリント
（100回洗濯するまで）
12.6kg



■ 原料 ■ 加工 ■ 輸送 ■ 使用 ■ 廃棄

身近な製品のカーボンフットプリント

4

ペットボトル水（500ml）

カーボンフットプリント
0.533kg



原料	水（湧き水）、プラスチック（ボトル・キャップ・ラベル）
加工	日本
輸送	トラックではこぶ
使用	常温保存できる。 冷蔵庫で冷やすことも。
廃棄	ボトル・キャップ・ラベル は回収、リサイクル

身近な製品のカーボンフットプリント

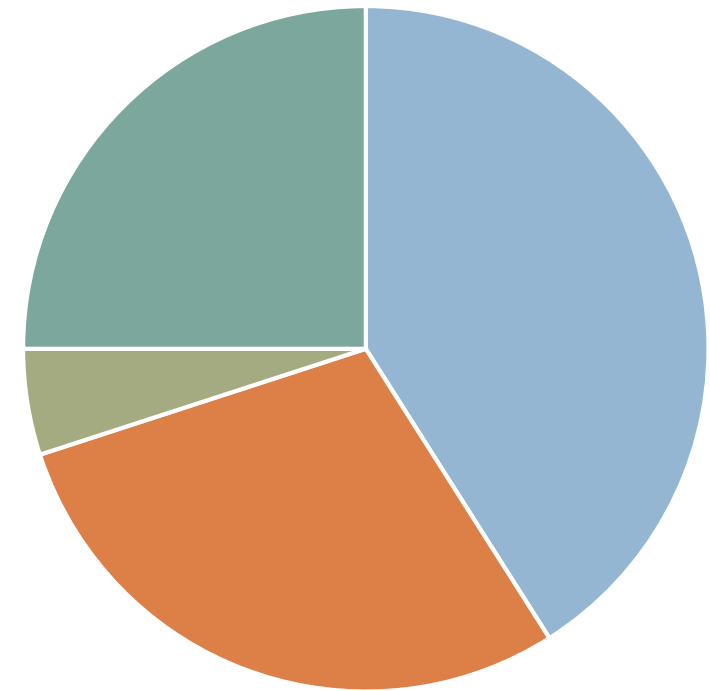
4

ペットボトル水（500ml）



原料	水（湧き水）、プラスチック（ボトル・キャップ・ラベル）
加工	日本
輸送	トラックではこぶ
使用	常温保存できる。 冷蔵庫で冷やすことも。
廃棄	ボトル・キャップ・ラベルは回収、リサイクル

カーボンフットプリント
0.533kg



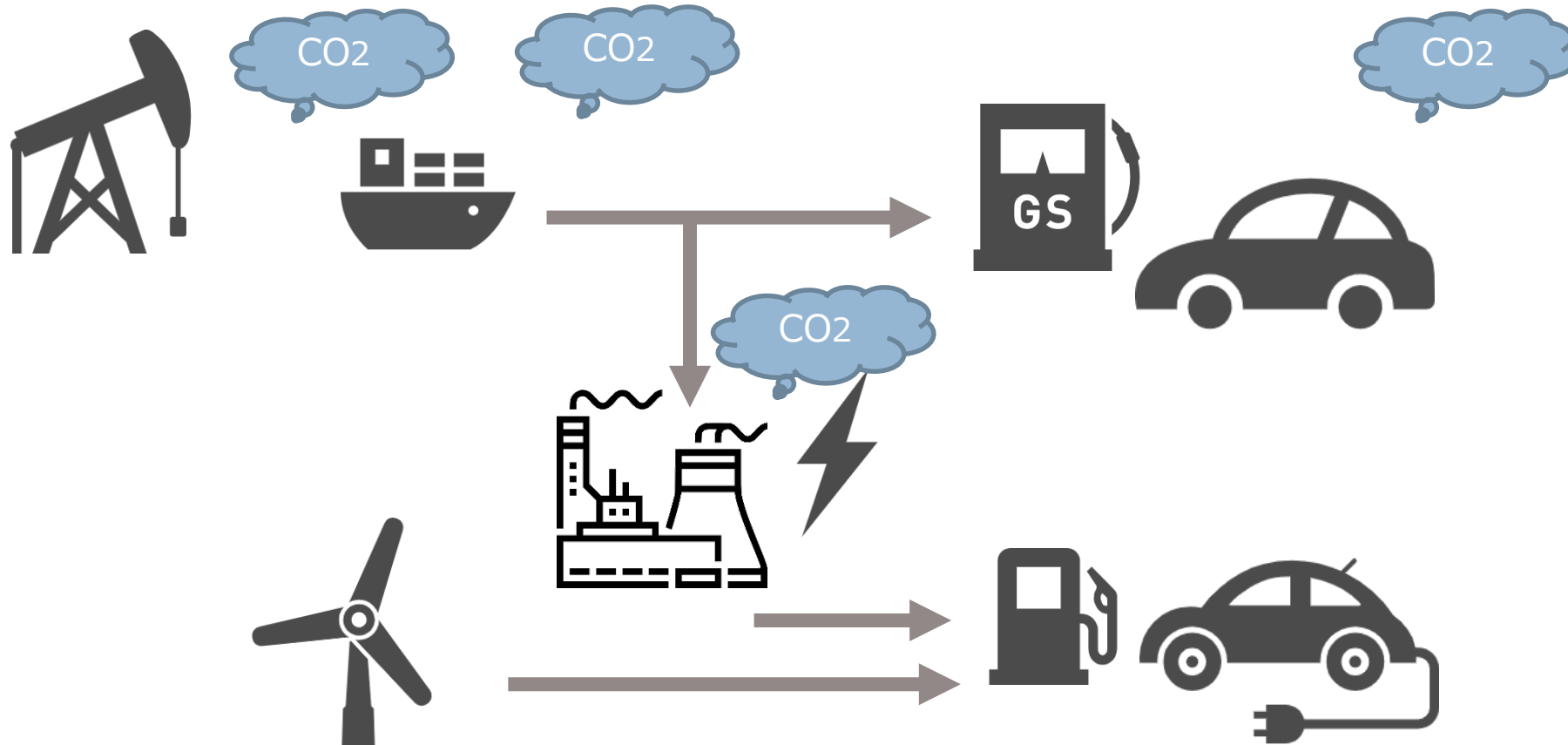
■ 原料 ■ 加工 ■ 輸送 ■ 使用 ■ 廃棄

カーボンフットプリントを減らす買い方、使い方、捨てる方

フットプリントが多い段階	買い方、使い方、捨てる方の工夫			
	フットプリントの少ない製品・サービスを選ぶ	使い方を工夫する	大切に長く使う (修理しやすいものを選ぶ)	リユース・リメイクする
材料	✓		✓	✓
加工	✓		✓	✓
輸送	✓		✓	✓
使用		✓		
廃棄			✓	✓

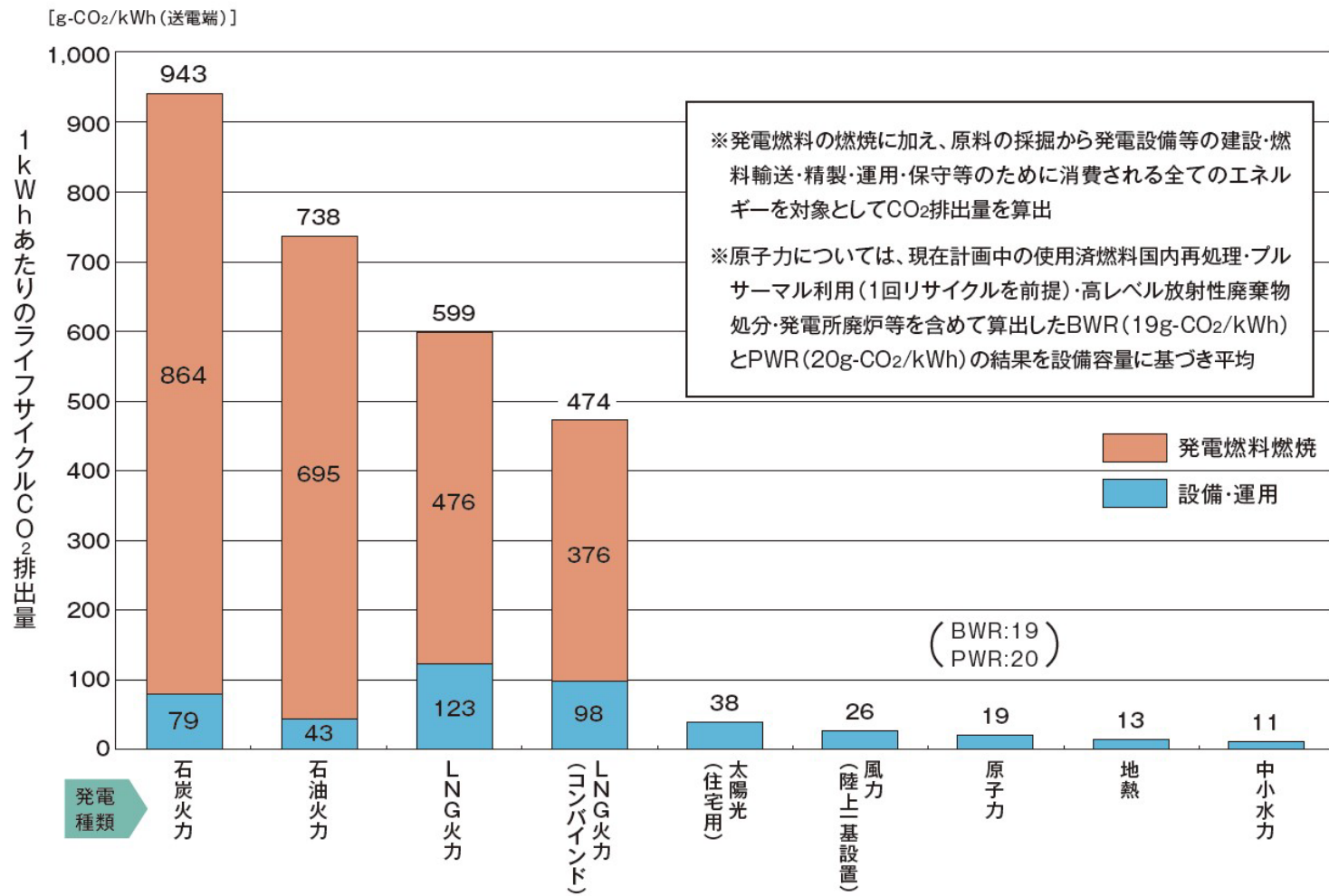
電化ってなに？電気を使うのは同じなのでは？

例) ガソリン車と電気自動車 (使う時)



太陽光は製造時などにたくさんCO2を出すのでは??

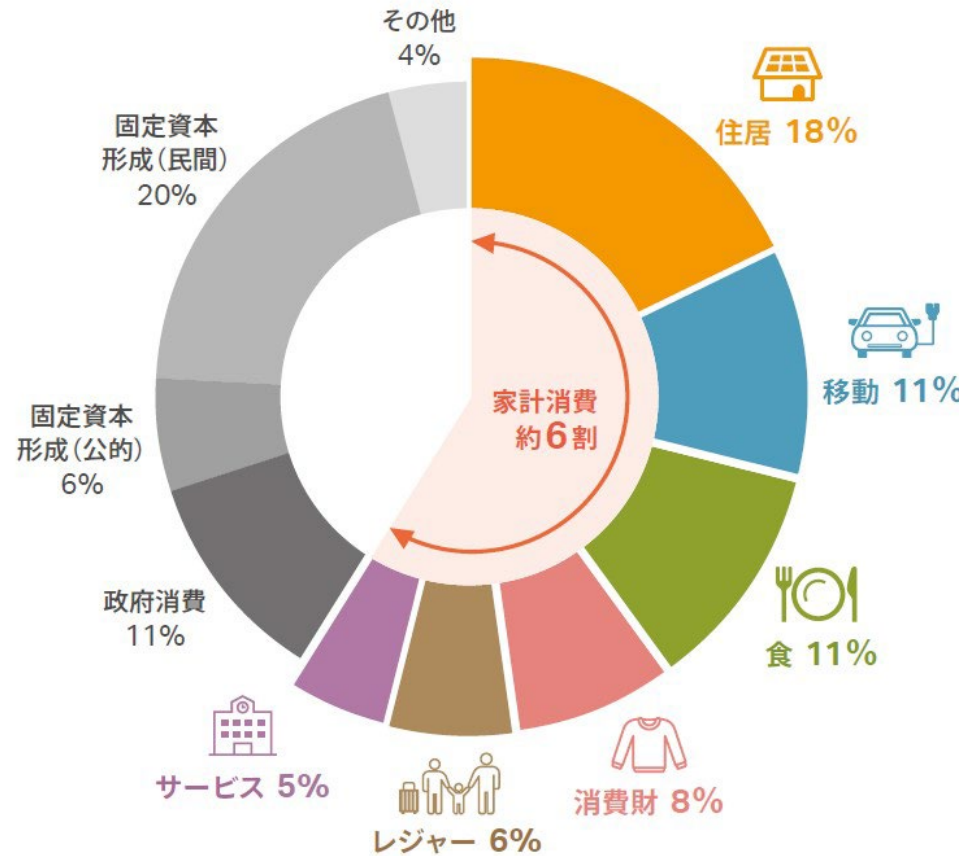
各種電源別のライフサイクルCO₂排出量



出典：電力中央研究所
「日本における発電技術の
ライフサイクルCO₂排出量
総合評価(2016.7)」にも
とづき「エネ百科」が作成

社会・経済と カーボンフットプリント

日本のカーボンフットプリント



日本のカーボンフットプリント内訳 (2015年¹⁾)

*政府・家計外・非営利団体消費・在庫純増の合計

出所:国立環境研究所・IGES 「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの
選択肢カーボンフットプリントと削減効果データブック」

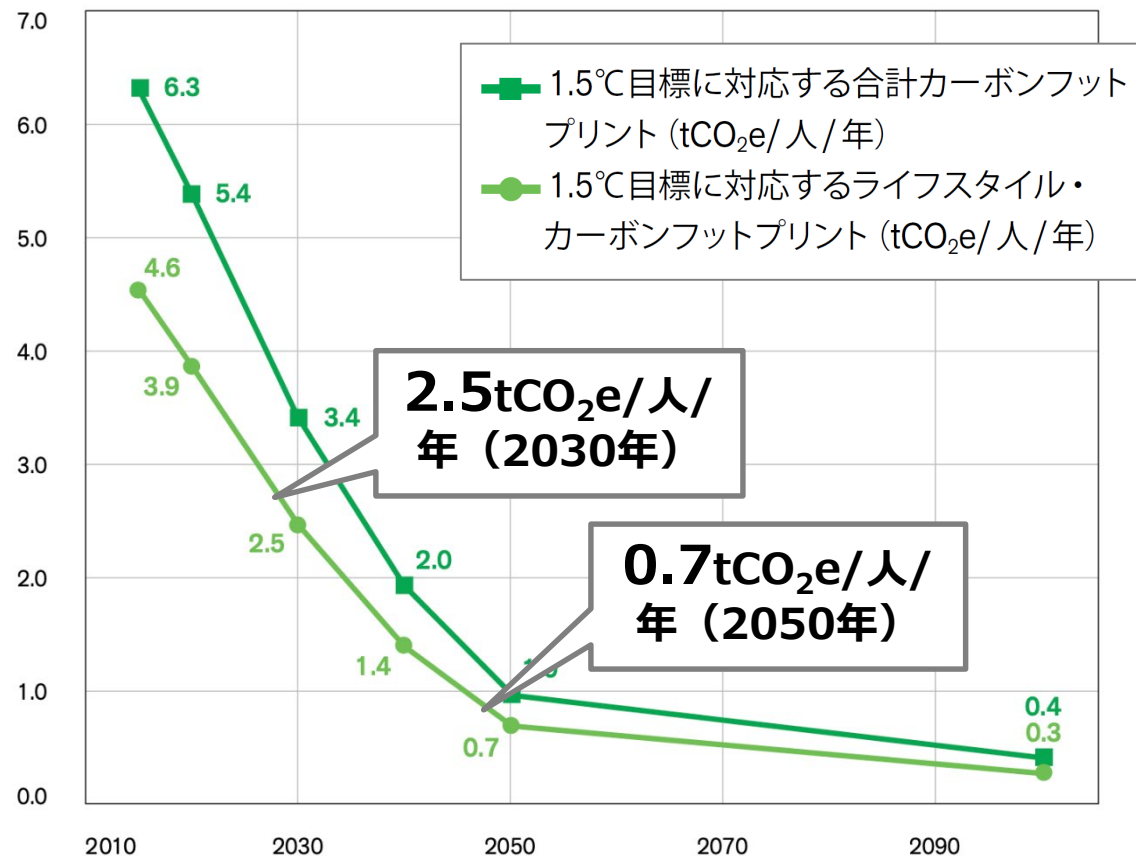
パリ協定の1.5℃目標に対応する目標値

日本の削減目標

2030年までに
約1/3

2050年までに
約1/10

世界共通の一人当たりフットプリント目標

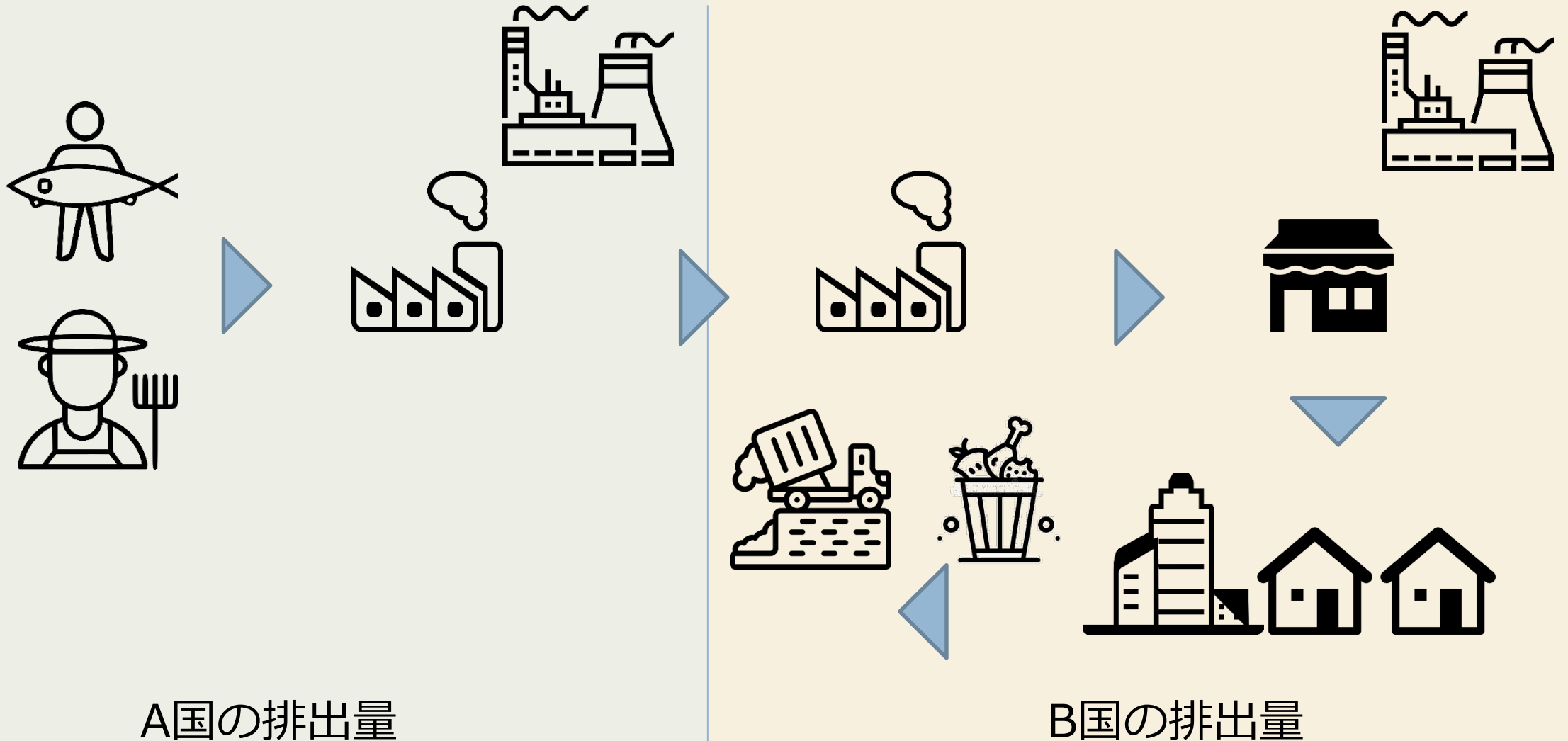


※ネガティブ・エミッション技術の大規模な利用に依存せずに1.5℃目標に到達する想定

小出瑠, 小嶋公史, 渡部厚志 (2020) 1.5℃ライフスタイル 脱炭素型の暮らしを実現する選択肢 日本語要約版, 地球環境戦略研究機関.

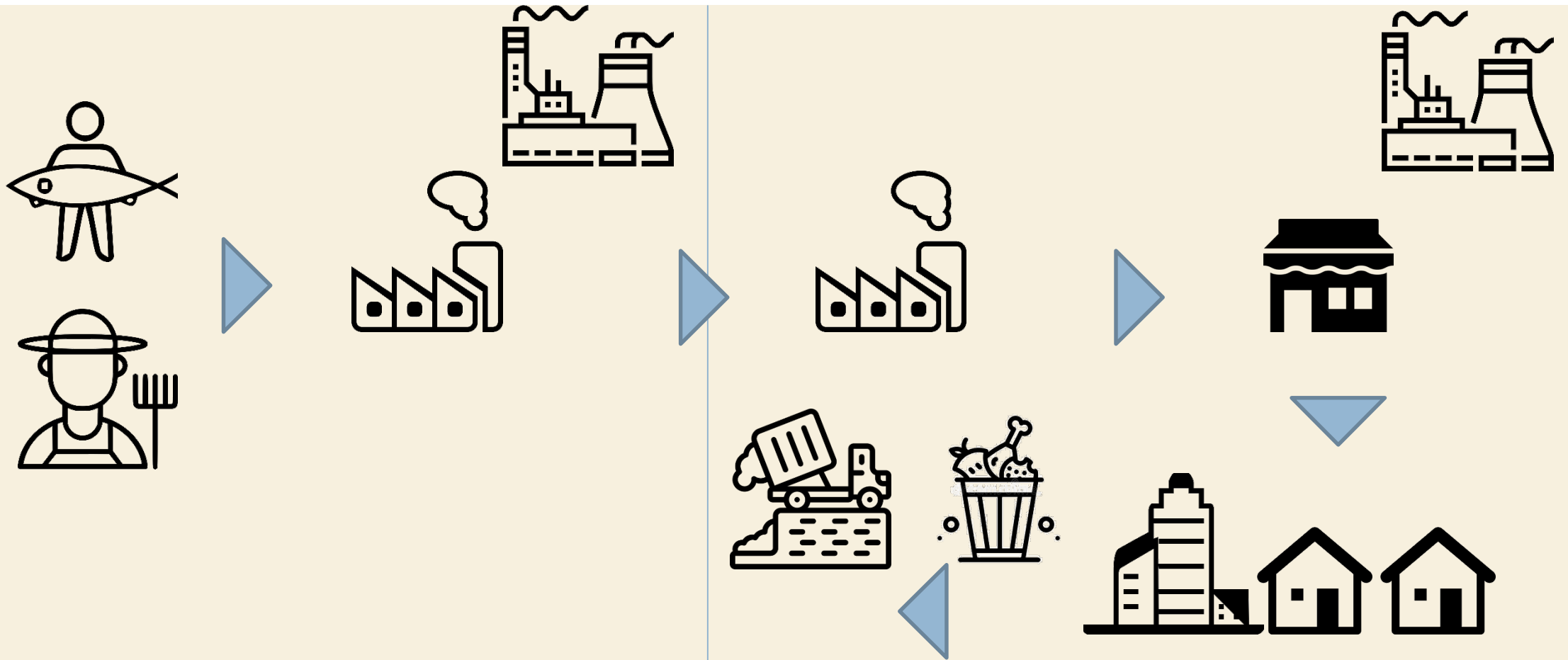
国の排出量とカーボンフットプリント

各国の排出量 = その国で財・サービスが生産・流通・使用・廃棄される時に生じるGHG



国の排出量とカーボンフットプリント

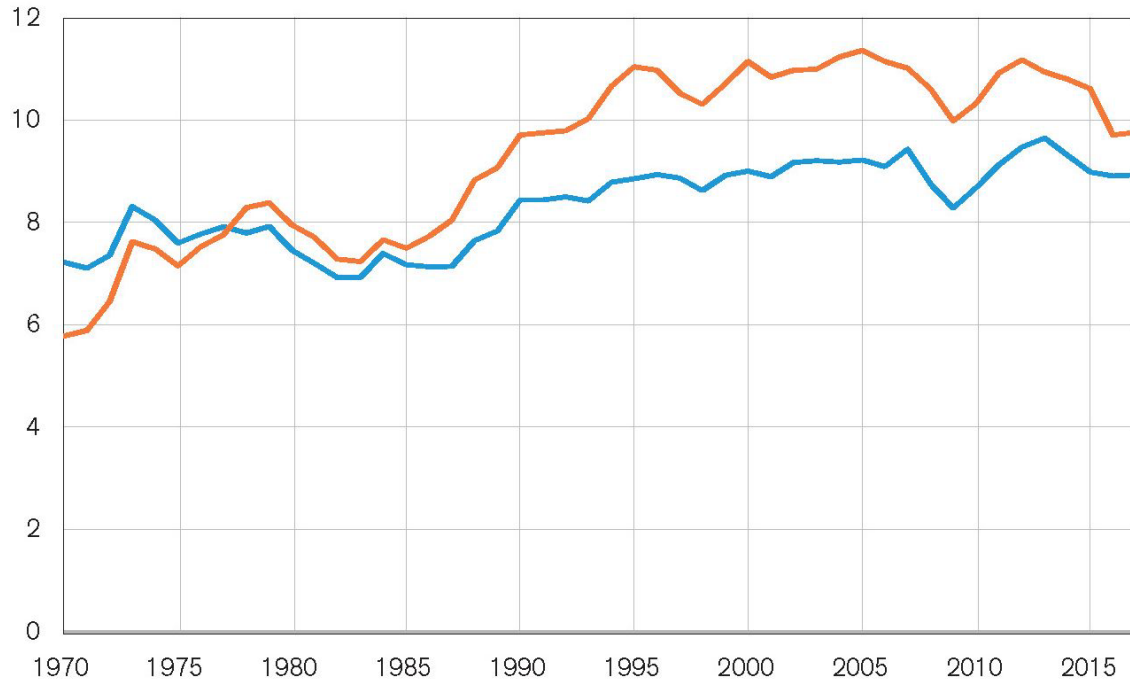
各国のカーボンフットプリント = その国で消費される財・サービスが生産・流通・使用・廃棄される時に生じるGHG



B国消費者のフットプリント

日本の排出量とカーボンフットプリント

一人当たりCO₂排出量(エネルギー起源のみ) [tCO₂/人/年]



— カーボンフットプリント (tCO₂/人/年)
— 直接CO₂排出量 (tCO₂/人/年)

注：直接CO₂排出量およびフットプリントデータはKGM & Associates (2019) による。なお、本研究で着目するライフスタイル・カーボンフットプリントは、家計消費のみを対象とし、かつCO₂だけではなく他のGHGを対象に含むため、本図で示すカーボンフットプリントとは一致しない。

直接排出量：
一人年間8.9t
カーボン
フットプリント：
一人年間9.9t

1950-1975:
ものづくりの国

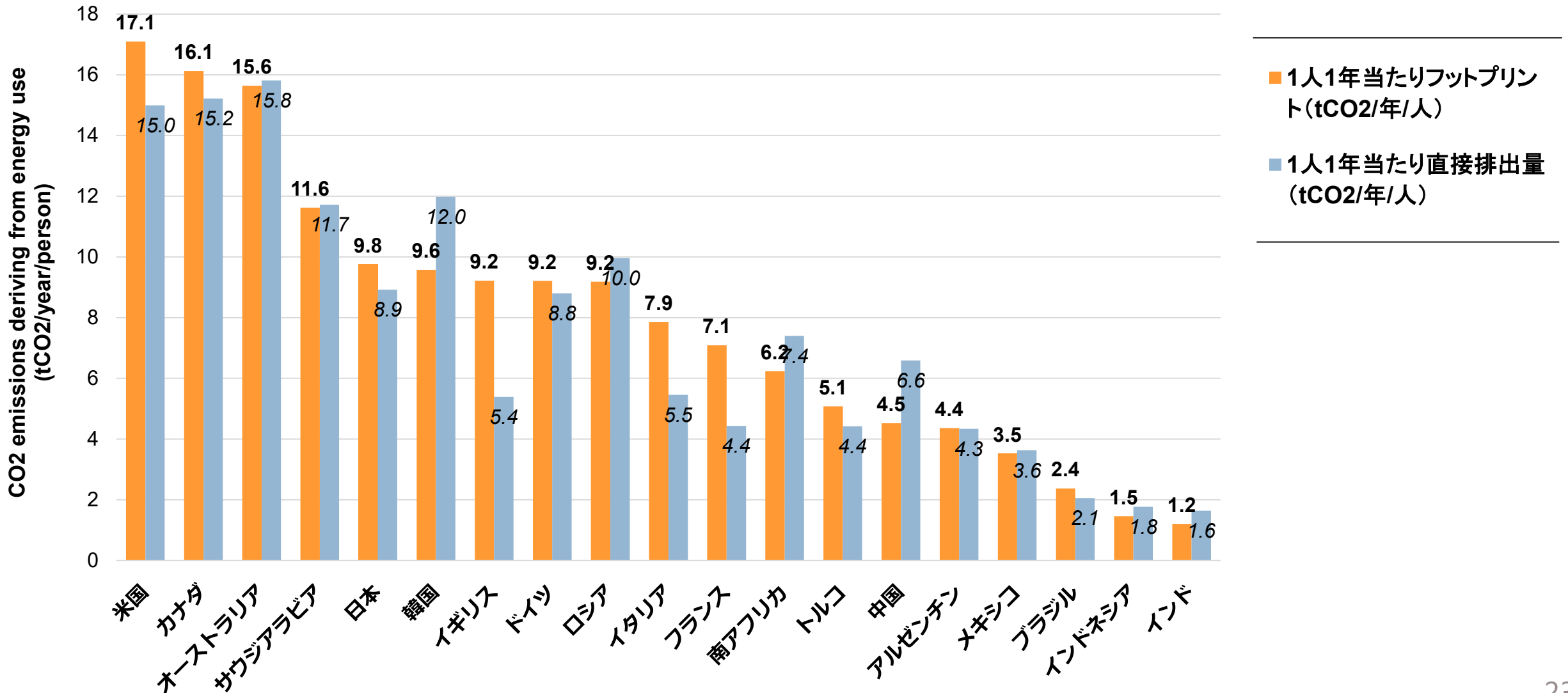


1980-現在:
消費社会

図 2.1 日本の一人当たり直接CO₂排出量およびカーボンフットプリント

出典：IGES (2020) 「1.5℃ライフスタイル—脱炭素型の暮らしを実現する選択肢—」

世界各国の排出量とカーボンフットプリント



神奈川のくらしと カーボンフットプリント

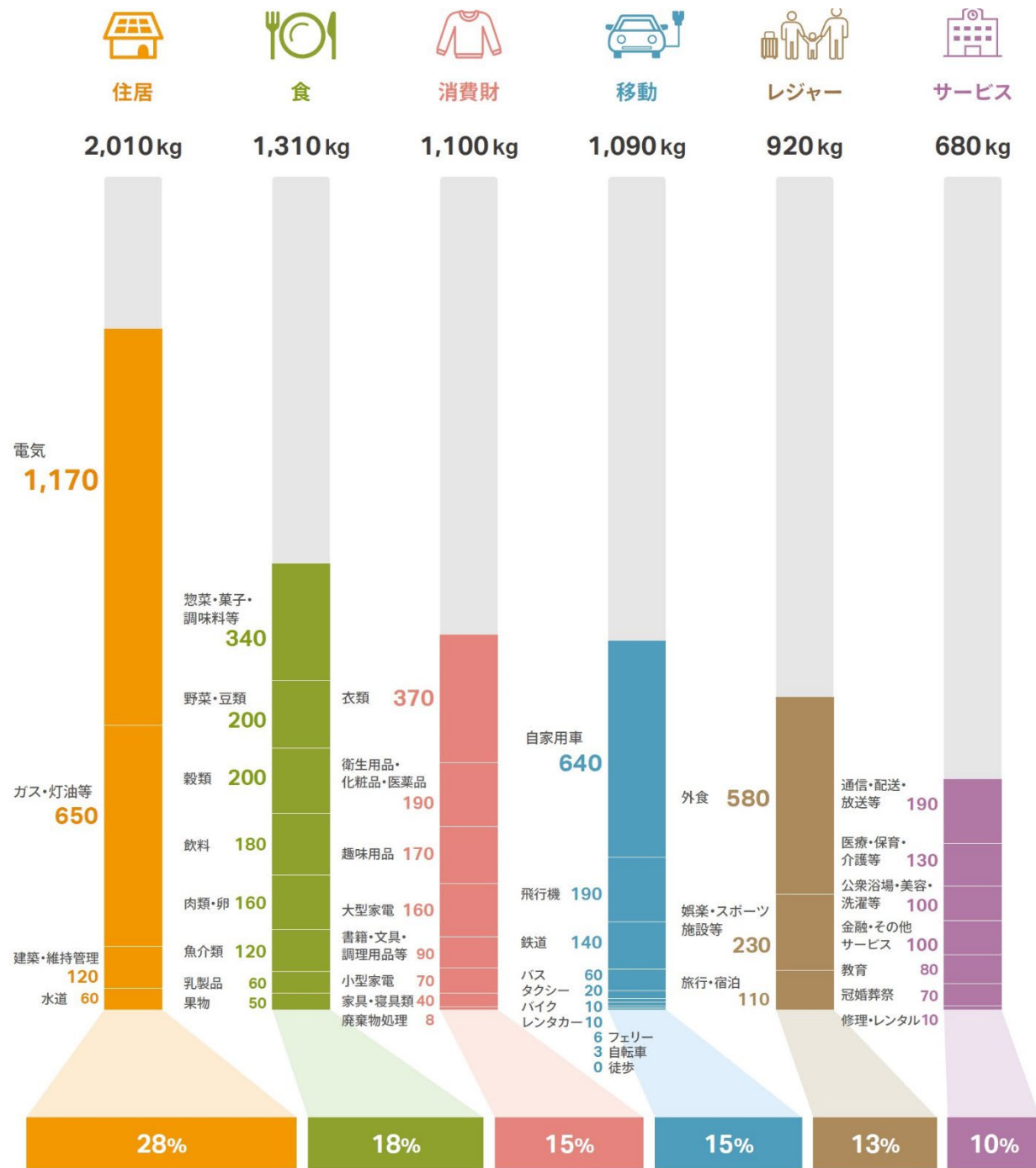
全国
7,120 kgCO₂e
1人1年あたりの家計消費カーボンフットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢 カーボンフットプリントと削減効果データブック」



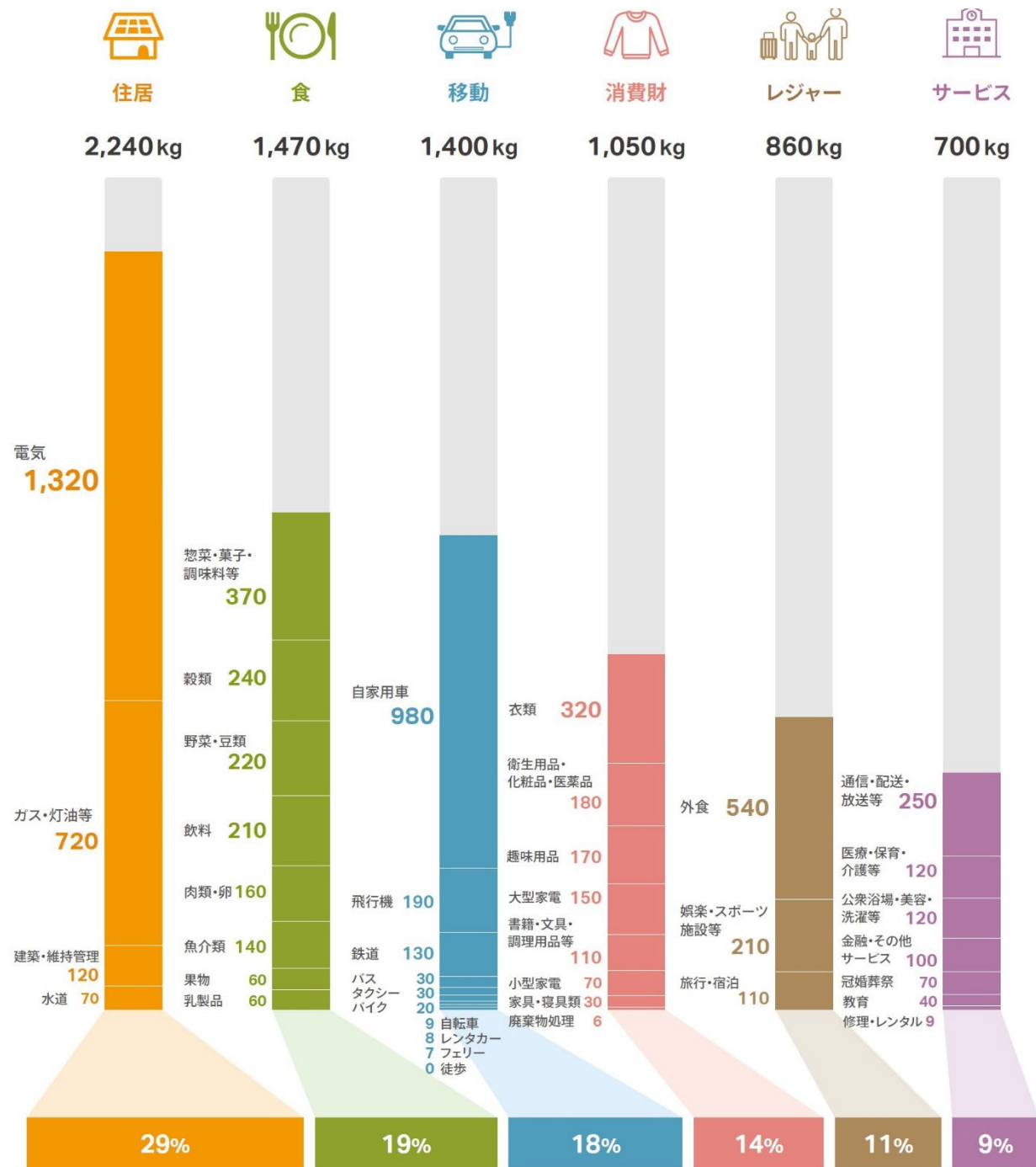
横浜市
7,120
kgCO₂e
1人1年あたりの
家計消費カーボン
フットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
「国内52都市における脱炭素型
ライフスタイルの選択肢 カーボン
フットプリントと削減効果データ
ブック」



相模原市
7,710
kgCO₂e
1人1年あたりの
家計消費カーボン
フットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
「国内52都市における脱炭素型
ライフスタイルの選択肢 カーボン
フットプリントと削減効果データ
ブック」



みなさんの
カーボンフットプリント

カーボンフットプリント診断

ご回答者の平均カーボンフットプリント

* ご回答者の平均値

	カーボンフット プリント	単位
住宅・エネルギー	1,863	kgCO ₂ e/人/年
移動	1,402	kgCO ₂ e/人/年
食	1,120	kgCO ₂ e/人/年
製品	1,107	kgCO ₂ e/人/年
レジャー	785	kgCO ₂ e/人/年
その他(サービス等)	589	kgCO ₂ e/人/年
	6,866	kgCO₂e/人/年

* ご参考：全国平均

種類	カーボンフット プリント	単位
住居	2,150	kgCO ₂ e/人/年
移動	1,380	kgCO ₂ e/人/年
食	1,260	kgCO ₂ e/人/年
消費財	980	kgCO ₂ e/人/年
レジャー	740	kgCO ₂ e/人/年
サービス	610	kgCO ₂ e/人/年
	7,120	kgCO₂e/人/年

* ご参考：全国平均との差

種類	カーボンフット プリント	単位
住居	-287.4	
移動	21.7	
食	-140.1	
消費財	127.4	
レジャー	45.2	
サービス	-21.2	
	-254.4	

カーボンフットプリントの 少ない暮らしとは

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山 2023.8.5
第2回 話題（2）

脱炭素行動「オプション・カタログ」

1.5°C ライフスタイルプロジェクト

オプション・カタログ

横浜版

2023/6/1

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)

脱炭素ライフスタイルチャレンジ オプション一覧			
中項目	番号	オプションの名称	最大削減効果 (kgCO ₂ e/人年) 秋田
移動			
自動車での移動を効率的に	1	ライドシェアリング	-540
	2	カーシェアリング	-280
	9	エコドライブを行う	-160
低炭素型の自動車を使う	3	マイカーを電気自動車に・充電は再エネで	-420
	4	マイカーをプラグインハイブリッド車(HEV)に・充電は再エネで	-360
	5	マイカーをHEVに	-220
	6	マイカーを電気自動車に	-180
	7	マイカーをハイブリッド車に	-190
	8	マイカーを軽自動車に	-130
	10	都市内移動を公共交通機関・自転車に	-450
	11	通勤・通学を公共交通機関・自転車に	-270
低炭素型の移動手段を使う	12	長距離移動を公共交通機関で	-210
	13	国内線の飛行機利用を鉄道に	-20
	14	タクシー移動をバス・自転車に	-20
	15	テレワークの実施	-270
	16	帰省をオンラインで	-150
	17	まとめ買いをする	-150
	18	週末を地元で過ごす	-90
移動距離を減らす	19	休暇を国内で過ごす	-100
	20	休暇を近場で過ごす	-20
	21	自宅と職場・学校の距離を近く	-280
	22	コンパクトな街に住む	-180
	エネルギー		
低炭素型の住居に暮らす	23	自宅をライフサイクルカーボンマイナス住宅に	-2,750
	24	自宅をゼロエネルギー住宅に	-2,400
	25	自宅をネットゼロエネルギー住宅に	-1,900
	26	自宅を断熱リフォーム	-320
	27	自宅の窓を二重窓に	-110
	32	自宅をコンパクトに	-400
	35	自宅の電球をLEDに	-90
エネルギーを節約する	36	自宅でウォーム・クールビズ	-260
	37	ナッジによる省エネ	-80
	28	自宅に太陽光パネル設置・蓄電池併用	-1,350
	31	自宅に太陽熱温水器を導入	-250
	33	太陽熱給湯器(ヒートポンプ)による温水供給	-180
石油・ガスの利用を減らす	34	自宅の暖房をエアコンだけに	-380
	29	自宅に太陽光パネル設置	-1,280
再生可能エネルギーを使う	30	自宅の電力を再エネに	-1,240
食			
動物性食品を別の食品に替える	38	食事を完全菜食(ヴィーガン)に	-350
	39	食事を菜食(ベジタリアン)に	-210
	42	食肉の内臓を代替肉に	-170
	43	食肉の内臓を魚に	-80
	44	食肉の内臓を鶏肉のみに	-80
	46	フランスの取れた食事に	-90
食事のバランスを見直す	41	菓子・アルコール・ジュースを減らす	-150
	45	旬の野菜や果物を食べる	-50
	47	地元で採れた野菜や果物を食べる	-10
	48	アルコールとたばこを控える	-150
食品の廃棄を減らす	45	食品ロスをゼロに	-80
製品			
ものを大切に使い、新品の購入量を減らす	49	衣類を長く着る	-150
	50	網楽用品を長く使う	-110
	51	小型家電を長く使う	-40
	52	耐用品を長く使う	-20
	53	家具を長く使う	-30
	54	消耗品を節約する	-90
55	電子書籍の利用	-20	
レジャー			
地域で楽しむ	56	レジャーをアウトドアや地域で	-170
	57	旅行サービスをエコに	-70



ライドシェアリング
470 kg-CO₂の削減



カーシェアリング
210 kg-CO₂の削減



エコドライブ
140 kg-CO₂の削減



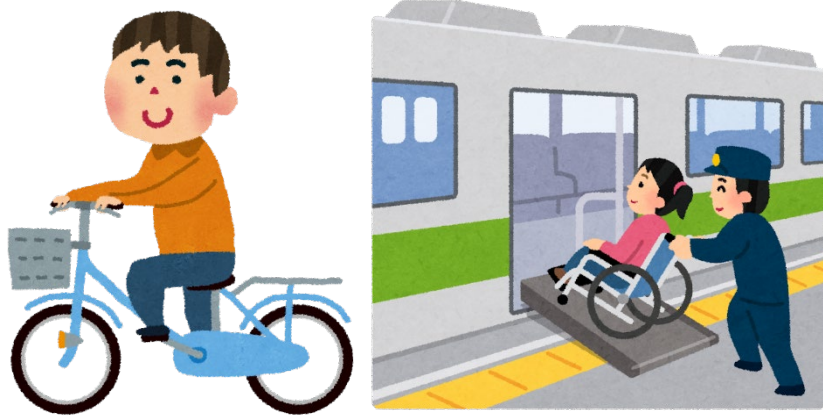
マイカーを電気自動車に・
充電は再エネで
300 kg-CO₂の削減



マイカーを電気自動車に
230 kg-CO₂の削減



マイカーをプラグイン
ハイブリッド車に
230kg-CO₂の削減



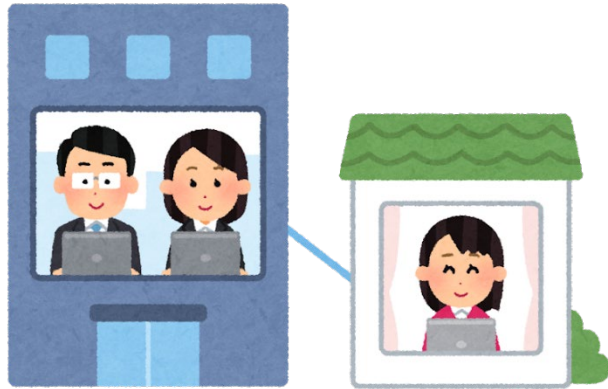
都市内の移動を
公共交通機関か自転車で
390 kg-CO₂の削減



長距離移動を
公共交通機関で
180 kg-CO₂の削減



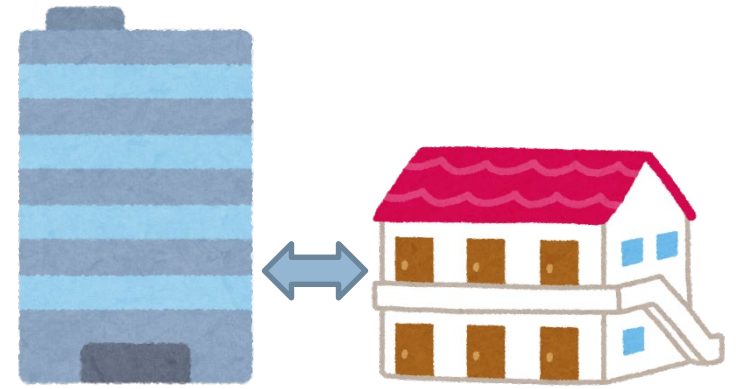
国内線の飛行機移動を
鉄道に
50 kg-CO₂の削減



テレワークの実施
290 kg-CO₂の削減



まとめ買いをする
150 kg-CO₂の削減



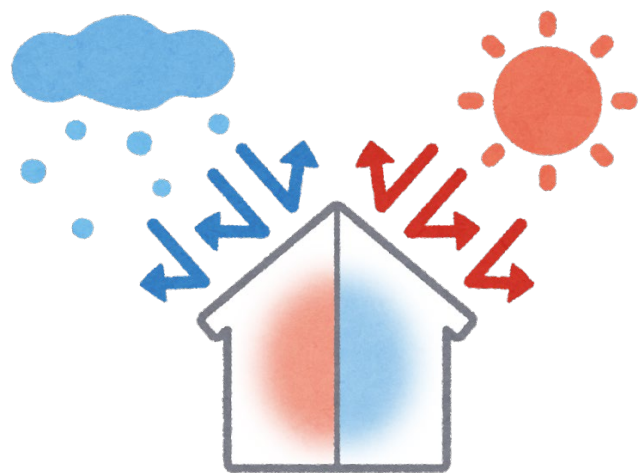
自宅と職場・学校の
距離を近く
250 kg-CO₂の削減

エネルギー 低炭素型の住居に暮らす

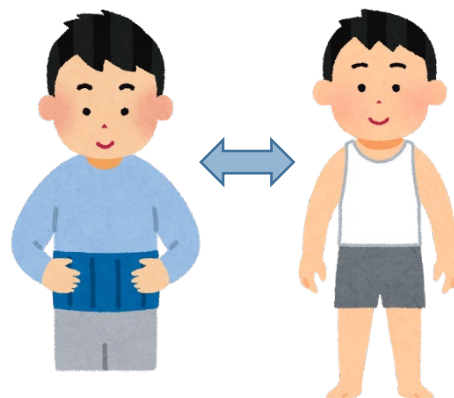


自宅をゼロ・エネルギー住宅に
1880 kg-CO₂の削減

エネルギー エネルギーを節約する



自宅を断熱リフォーム
140 kg-CO₂の削減

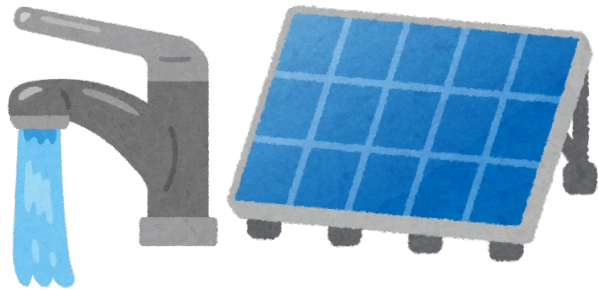


自宅でウォームビズ
クールビズ
110 kg-CO₂の削減

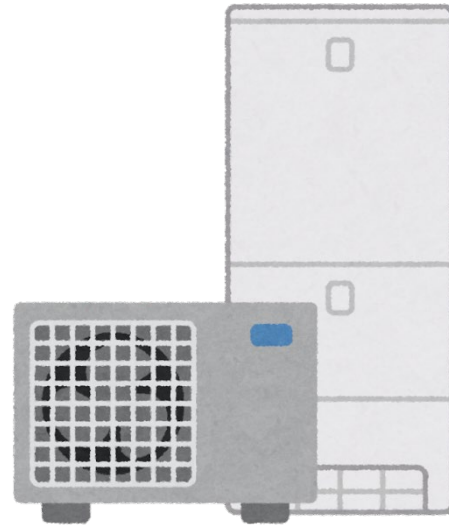


自宅をコンパクトに
230 kg-CO₂の削減

エネルギー 石油・ガスの利用を減らす



自宅に太陽熱温水器を導入
220 kg-CO₂の削減



太陽熱給湯器
(ヒートポンプ)
による温水供給
160 kg-CO₂の削減

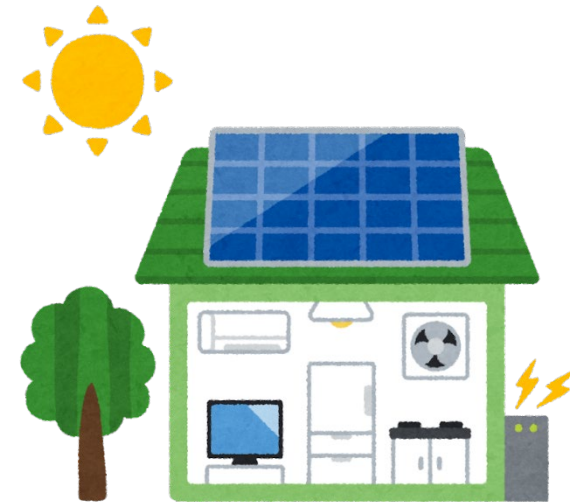


自宅の暖房を
エアコンだけに
110 kg-CO₂の削減

エネルギー 再生可能エネルギーを使う



自宅の電力を100%
再生可能エネルギーに
1190 kg-CO₂の削減

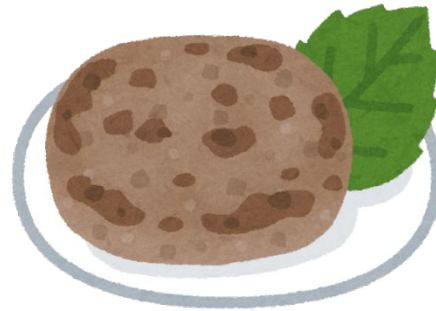


自宅に太陽光パネル設置
1240 kg-CO₂の削減

動物性食品を他の食品に替える



完全菜食（ヴィーガン）
390 kg-CO₂の削減



肉類を代替肉に
200 kg-CO₂の削減



肉類を鶏肉のみに
80kg-CO₂の削減



バランスの取れた食事に
120 kg-CO₂の削減



菓子・アルコール・
ジュースを減らす
140 kg-CO₂の削減



地元の野菜や果物を食べる
10 kg-CO₂の削減
旬の野菜や果物を食べる
50 kg-CO₂の削減



食品ロスをゼロに
60 kg-CO₂の削減



衣類を長く着る
310 kg-CO₂の削減



小型家電を長く使う
60 kg-CO₂の削減



消耗品を長く使う
100 kg-CO₂の削減



レジャーやアウトドアを地域で
310 kg-CO₂の削減



旅行サービスをエコに
110kg-CO₂の削減

グループワーク2

グループワーク2 (35分)

1. 各自で意見出し (3分)

リストの中で、
「積極的に取り組みたい・魅力を感じる」
「取り組みたいと思わない・魅力を感じない」
脱炭素行動の番号と、そう思う理由を
付箋紙に書いて下さい。

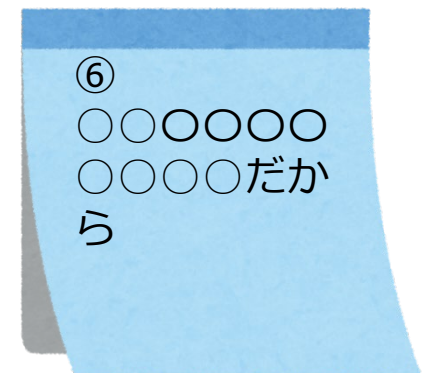
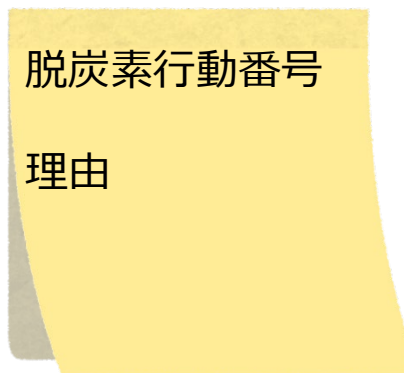
- ◆ 1枚の付箋紙に意見は1つ
- ◆ 1人何枚でも構いません
- ◆ オプション・カタログまたはリストを見ながら考えてください

2. グループで話し合い (20-25分)

模造紙に付箋紙を貼りながら、グループで話し合います。
意見が分かれた点について話したり、他の人の話を聞いて考えたことを出し合いましょう。

積極的に取り組みたい
魅力を感じる→黄色

取り組みたいと思わない
魅力を感じない→ブルー



発表（1グループ2分）

脱炭素
ライフスタイル
チャレンジ

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山での 脱炭素ライフスタイルチャレンジ

第2回市民会議 (8/5)

- 暮らしと温暖化との関係を考える
- 家庭の脱炭素行動を知る
- どの脱炭素行動に挑戦するか考える

脱炭素ライフスタイル チャレンジ (8/12- 9/3)

- 家庭で脱炭素行動を取り入れてみる
- 脱炭素行動の実践から学んだことを考える

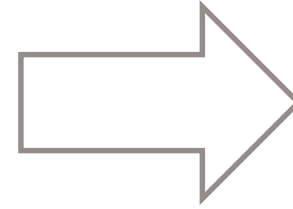
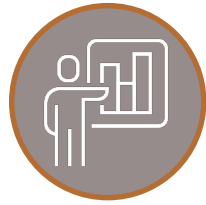
第3回市民会議 (9/23)

- 脱炭素行動の経験を共有する
- 脱炭素の暮らしを取り入れやすい地域社会、制度、技術やサービスなどの条件を考える
- 深掘りしたいテーマを設定する

第4回市民会議

脱炭素に向かう
逗子・葉山の未来に
ついてテーマ別に
深く話し合う

脱炭素ライフスタイルチャレンジ



カーボンフット
プリント診断書

グループワーク

脱炭素ライフスタイル
オプションカタログ

脱炭素型ライフスタイルに
ご家庭で挑戦

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

1. チャレンジする
脱炭素行動の選択



2. 実施
(2週間)



3. チャレンジの
振り返り

「1. 炭素チャレンジ：
実施する行動の選択」

「2. 脱炭素チャレンジ：
振り返り」

脱炭素ライフスタイルチャレンジ：チ ャレンジする脱炭素行動の選択

脱炭素に向けたライフスタイルの転換のためには、どのような行動を選択すべきか、どのようなサービスが実現できるのか、市民の皆様に議論し、日常生活で実際に体験していただきながら、実現可能なビジョンを一緒に考えていきましょう。

カーボンフットプリントのご自身の診断書と初回のワークショップで得られた知識を踏まえ、オプション・カタログに掲載された削減オプションを自分自身のライフスタイルに照らし合わせながら、身の周りの暮らしを一度見直しましょう。

移動、エネルギー、食、製品、レジャーの5つのカテゴリーで、...の削減オプションが提案されています。その削減オプションの中から、挑戦してみたいオプションに対していくつか第二回ワークショップまでの「今から実施してみる」オプションを選択ください。それ以外のオプションに対して、「実施中」、「将来条件がそろえば実施したい」、「取り組みたくない」、「該当外」の中から選択ください。

締切：9月9日（金）

【個人情報の取得・利用目的について】

「大館市脱炭素型ライフスタイル市民ワークショップ」にご参加いただくためにご提供頂く個人情報を取得・利用する目的は以下の通りです。

- ・ 大館市地球温暖化対策実行計画の策定の背景情報として役立てます。

脱炭素チャレンジ：振り返り

本実施期間を一度振り返りましょう。

本アンケートには、ご家庭で脱炭素型の行動をどの程度実施することができたか、どのような感想をお持ちになったか（難しかった、やりやすかったなど）、どんなサポートがあるとよいかといったことをお聞きます。

このアンケートの内容は、第二回ワークショップで、脱炭素ライフスタイルを大館市で実現させるために必要な支援、社会の進化について意見交換する際に活用いたします。

【個人情報の取得・利用目的について】

「大館市脱炭素型ライフスタイル市民ワークショップ」にご参加いただくためにご提供頂く個人情報を取得・利用する目的は以下の通りです。

・

大館市地球温暖化対策実行計画の策定の背景情報として役立てます。

- ・ 後日IGESの公開する報告書等に、個人を特定することのできない形で「参加者の平均」として掲載する場合があります。その場合には、発表前に皆様にご確認を頂きます。

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

1. 脱炭素行動 の選択・準備

「カタログ」にある5分野、57種の脱炭素行動について

1) **今から実施してみる**行動を選んでください

できれば5分野から各1種類以上を選んでください

できれば少し難しいかもしれない行動も選んでください

2) それ以外の行動については、

次の中で考えに近いものを選んでください

実施中…もう暮らしに取り入れている場合

将来、条件がそろえば実施したい

取り組みたくない

該当外…例：自動車を持っていない人には、自動車の

選択に関わる行動は「該当外」となります

・ **ご回答期間：8月6日～8月19日（チャレンジ開始前）**

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

1. 脱炭素行動 の選択・準備

例：移動

移動

問1：提案されている移動に関する脱炭素行動の中から、挑戦してみたいいくつ*
かの行動に対して、「今から実施してみる」行動を選択ください。

それ以外の行動に対して、以下のようにお答えください：

「実施中」：すでに実施している行動、

「将来 実施したい」：今すぐはできないけど、将来 条件がそろえば実施してみたい、

「取り組みたくない」：特に実施するつもりはない、

「該当外」：取り組む機会がない。

	すでに実施中	今から実施し てみる	将来 実施し たい	取り組みたく ない	該当外
1 ライドシ ェアリング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 カーシエ アリング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

1. 脱炭素行動 の選択・準備

「今から実施してみる」行動を始めるために準備が必要な場合は、どんな準備をするかも書いてみてください

実施の計画・準備

問6：「今から実施してみる」と選択した脱炭素行動を始めるために準備が必要な場合は、どんな準備をするかをお教えてください。

（例：必要な製品を購入する、移動ルートを調べる、家族や職場と相談する）

回答を入力

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

2. 実施 (2週間)

8

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

チャレンジ実施期間

8/12 (土) ~ 9/3 (日) までの
任意の2週間

実施内容

今から実施してみるを選んだ行動

…できれば5分野から各1種類以上の
行動に挑戦してみてください

…できれば少し難しいかもしれない
行動にも挑戦してみてください

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

3. チャレンジの 振り返り・報告

1. 脱炭素行動の実施について

問1：オプション・カタログで提案されている脱炭素行動の中から、前回のアンケートで「今から実施してみる」と選択した行動をご記入ください。 *

Choose

1 ライドシェアリング

2 カーシェアリング

9 エコドライブを行う

3 マイカーを電気自動車に・充電は再エネで

4 マイカーをプラグインハイブリッド車（PHEV）に・充電は再エネで

5 マイカーをPHEVに

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

3. チャレンジの振り返り・報告

問2：チャレンジ期間を振り返り、この脱炭素行動に対して、実施の度合いを評価してください。*

- 実施できた（ほぼ100%）
- かなり実施できた（ほぼ75%）
- 5割程度実施できた（ほぼ50%）
- 少し実施できた（ほぼ25%）
- 実施できなかった（ほぼ0%）

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

3. チャレンジの 振り返り・報告

問3：この脱炭素行動を実施する際にご経験した感想、困難、障害についてご記入ください。 *

回答を入力

問4：この脱炭素行動に対して、ご自身の経験をベースにどのような支援、社会の変化があれば実施しやすくなると思いますか？ *

回答を入力

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

3. チャレンジの 振り返り・報告

問5：この脱炭素行動の実施についてのご記入ありがとうございました。*
前回のアンケートで「今から実施してみる」と選択された他の脱炭素行動はありましたか？

「まだある」とご回答されると、次の脱炭素行動にお進みいただきます。
「ない」とご回答 場合は、最後の「すべての脱炭素行動に対する感想・まとめ」の質問にお進みいただきます。

- まだある
- ない

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

3. チャレンジの振り返り・報告

その他の脱炭素行動について

問6：今回は実施しなかった行動のなかで、社会の変化や支援があれば実施でき*
と思うものはありますか？あれば、**行動の名前と実施しやすくなるような社会
の変化や支援をお書きください**

回答を入力

問7：今回実施した行動や、オプションカタログに含まれていない行動も含め、
実現できればより良い未来の暮らしにつながると思う行動はありますか？ある場
合、**行動の名前とその行動が暮らしにもたらす良い点をお教えてください**

回答を入力

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

脱炭素行動の選択

8月6日～8月19日（チャレンジ開始前・20分ほど）

実施

8/12（土）～9/3（日）の任意の2週間

振り返りアンケートご回答（20分ほど）
9/3までにお願い致します

第3回市民会議
9月23日（土）

8							9						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

本日、残りの時間で考えていただくこと

- 1) 「オプションカタログ」を見ながら **今から実施してみる**行動に何を選ぶか、考えてください
できれば、5分野から各1種類以上を選んでください
できれば、少し難しいかもしれない行動もを選んでください
- 2) お手元の「脱炭素ライフスタイルチャレンジ準備メモ」に **実施してみる**行動の候補を書いてください
- 3) 選んだ行動のいくつかをグループのみなさんと紹介しあってください
- 4) 「準備メモ」「オプションカタログ」はお持ち帰りいただき、後日お送りする「脱炭素ライフスタイルチャレンジ行動選択」のご記入にご活用ください

脱炭素ライフスタイルチャレンジ

お問い合わせ先



公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
住所〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口2108-11

専用お問い合わせフォーム
<https://forms.gle/mKAfn66qLqssfy4e6>



脱炭素ライフスタイルチャレンジ 今後の予定

8/5	第2回市民会議	
8/6-8/19	チャレンジする行動の選択	8/6に選択アンケートをお送りします
8/12-9/3の 任意の2週間	脱炭素行動の実践	
9/3まで	振り返りアンケート	8月末に振り返りアンケートをお送りします
9/23	第3回市民会議	チャレンジの経験を話し合いに活用します